講義科目名称： 失敗の心理学　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
@	１学年	2	@
担当教員			
重森　雅嘉			
開講学科			
短期大学部　現代コミュニケーション学科			
添付ファイル			

授業の目的と到達目標	失敗や事故の科学的メカニズムを知り、失敗や事故に対する科学的態度を持つことができる
授業内容	各回のテーマについて実際の研究やデータに基づいた講義します。自分自身の例を毎回考えます。デモンストレーション実験により体感的に理解できます。グループディスカッションによりみんなで話し合います。
アクティブラーニング型授業	○

科目とディプロマポリシーとの関係
1:知識･理解
2:技能･能力
3:問題発見･解決力
4:ｼﾞｪﾈﾘｯｸｽｷﾙ
5:市民性の涵養
6:自律性･生涯学習力

学科	人間社会	コミュニティ福祉	現代コミュニケーション	食物
DP			1，4	1，4

授業計画

第1回　（前半）グループディスカッション（人がよくする失敗の分類）（後半）失敗の種類、CFQ

第2回　（前半）グループディスカッション（なぜ失敗するのか、失敗のメカニズム）（後半）見間違い、うっかりミスのメカニズム

第3回　（前半）聞き間違い（後半）言い間違い、書き間違い

第4回　（前半）思い違い、ヒューリスティクス（後半）記憶違い

第5回　（前半）し忘れ（展望的記憶エラー）（後半）注意の問題（低速度、容量制限）

第6回　（前半）注意の問題（持続制限）（後半）グループディスカッション（失敗しないためにはどうしたらいいか）

第7回　（前半）失敗防止法（後半）グループディスカッション（緊張するとなぜ失敗しやすいのか）

第8回　（前半）緊張場面の失敗（後半）グループディスカッション（緊張場面の失敗防止法）

第9回　（前半）緊張場面の失敗防止法（後半）グループディスカッション（もっとも有効な緊張場面の失敗防止法）

第10回　（前半）違反、リスクテイキング（後半）グループディスカッション（違反やリスクテイクをなくす方法）

第11回　（前半）失敗から学ぶ（後半）グループディスカッション（ヒヤリハットが集まらない理由、集める方法、活用法）

第12回　（前半）大事故の原因（後半）コミュニケーションエラー、同調、権威勾配、集団思考

第13回　（前半）グループディスカッション（言えるようになるためには）（後半）心理的安全

第14回　（前半）グループディスカッション（心理的に安全な集団を作るには）（後半）労働災害の現状

第15回　（前半）グループディスカッション（どうやったら事故のない世の中を作れるか）（後半）レジリエンス・エンジニアリング

事前・事後の学習時間・学習内容について	当日回のテーマに関する予習１２０分 日常場面でのその回の授業に関する考察（復習）１２０分
課題・試験のフィードバック方法	授業内でコメントをフィードバックします。
評価方法・基準	授業への取り組み姿勢、積極性（２５％） 授業における発言（２５％） グループワークに対する取り組み姿勢（２５％） グループワークにおける発言（２５％）

教科書

NO	書籍名	著者名	出版社	ISBN
1	なし			
2				
3				

参考書

NO	書籍名	著者名	出版社	ISBN
1	ヒューマンエラー防止の心理学	重森雅嘉	日科技連	9784817197283
2	失敗ゼロからの脱却	芳賀繁	角川学芸出版	9784044004804

受講に伴う費用（教科書を除く）	

主たる授業形態※学期途中に変更になることがあります。

オンライン授業	対面授業	併用
	○	

オフィスアワー	LINE等随時
その他学生へのメッセージ	夏期集中講義です。 成績は認定のみとなります（P）。
参考URL	
備考	

授業種類	実務家教員 ■実務家教員である □実務家教員でない 実務経験 公益財団法人鉄道総合技術研究所人間科学研究部安全心研究室研究員 西日本旅客鉄道株式会社社員（出向） 上記実務経験から現場の実例を踏まえ、幅広い事故や失敗の心理学の知識を解説する。 年数 16年